

# 平成15年度当初予算 環境安全部主要施策の概要

## 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 環境総合条例(仮称)の制定準備	3,700	既存条例、要綱、計画を包括した環境総合条例の検討 環境審議会の開催、タウンミーティング・パブリックコメントの実施など
2 いしかわグリーンプラン(環境にやさしい石川創造計画)の推進		
・ 県民エコステーションの充実	31,106	活動及び交流支援 新県民環境館の開設、環境保全団体への活動費助成 環境教育の推進 県民環境講座の拡充 リーダーの養成 ライブルクエストションでの研修 普及啓発
・ いしかわグリーンプラン推進費	39,288	いしかわかんきょうフェアの開催、環境ライブラリーの整備、環境情報の提供、移動食器洗浄車の貸し出し 県有施設グリーン化推進費 32,514千円 県有施設への省エネルギー化設備の導入 歴史博物館、ハイテク交流センター、水産総合センター 低公害車普及推進費 2,528千円 ハイブリッド車の導入 管財課2台、工業試験場1台 省資源化等推進費 4,246千円 紙類のリサイクル推進、節水の促進など
・ 学校版環境ISO取得支援費	3,000	県内の小・中・高校・特殊学校の「いしかわ学校版環境ISO」の普及、認定、活動支援(10校)
・ 環境配慮型企业等活動支援事業費	7,260	工業団地内リサイクルシステム構築費 4,390千円 環境保全活動に積極的に取り組む業界団体、工業団地に対する助成 石川県板金工業組合、石川県鋳物工業組合、 宇谷野工場団地連絡協議会、粟生工業団地振興会 いしかわグリーン企業表彰費 500千円 模範的な環境保全活動を実施している県内企業の表彰 環境マネジメント等推進費 2,370千円 企業の環境保全活動であるISO14001の導入、 環境報告書、環境会計の取り組みの推進
・ 国際環境規格取得費	4,300	県庁舎におけるISO14001認証取得に要する経費(平成16年3月認証取得予定) 認証審査登録 2,550千円 職員の環境マネジメントシステム研修 1,750千円

環境安全部

事業名	金額(千円)	説明
・ いしかわ地球温暖化防止推進事業費	13,100	<p><b>新</b>地域版・家庭版環境ISOマニュアル策定費  (わかりやすく取り組みやすい地球温暖化防止活動の推進) 8,100千円  マニュアル策定委員会の開催  モデル事業の実施(3自治会、100家庭)  <b>新</b>住宅用太陽光発電システム設置に対する助成 5,000千円</p> <p>内容 出力1KW当たり25千円  (標準システムは4KW/基)  補助基数 50基</p>
<b>3 リサイクル型社会のシステムづくり</b>		
・ ゼロエミッション行動計画の推進	2,440	<b>新</b> 廃棄物再資源化の促進に向けた分別収集に係る事業者ネットワーク組織化等の推進
・ リサイクル型社会構築推進事業費	10,404	<p>石川県リサイクル製品認定事業費 1,823千円  これまでの認定製品 47品目(28企業)  リサイクル推進費 8,581千円  マイバッグデザインコンテストの開催  いしかわクリーン・リサイクル推進協議会の開催  テレビ、ラジオ放送による普及啓発</p>
<b>4 国際環境協力の推進</b>		
・ 韓国全羅北道・中国江蘇省・ロシアイルクーツク州環境協力事業費	1,460	<p><b>新</b>韓国全羅北道、中国江蘇省の職員を招へいし環境教育に関する手法等の検討会を開催  テーマ 環境教育・学習  ロシアイルクーツク農業アカデミー職員を招へいし技術交流会を開催  テーマ 環境保全型農業</p>
・ 海外環境技術研修員受入事業費	1,402	中国研修員の受け入れ 1名、4か月 環境管理に関する技術・手法等の研修
<b>5 ダイオキシン削減対策</b>		
・ ダイオキシン対策費	19,948	<p>常時監視の実施  一般環境調査(大気、公共用水域、地下水、土壌)  発生源周辺地区環境調査  一般廃棄物、産業廃棄物焼却施設周辺地区環境調査</p>
・ 排ガス中ダイオキシン類測定調査費	2,364	<p>産業廃棄物焼却施設のダイオキシン類の測定  産廃焼却施設の排ガス・焼却灰 3施設  ダイオキシン特措法の特定施設の排ガス 3施設</p>

事業名	金額(千円)	説明
<b>6 安全・安心な環境の保全</b>		
・ 環境影響評価推進費	1,150	石川県環境影響評価条例に基づく技術審査の実施
・ 環境ホルモン対策費	1,427	河川7カ所における水質調査
・ 地盤沈下等対策費	19,110	手取地域水循環健全化支援事業費 2,420千円 地下水揚水量実態調査 工業用水使用合理化指導 8事業所 地盤沈下観測等調査費 12,333千円 手取地域等地下水保全対策費 1,963千円 地下水適正利用推進費 2,394千円
・ 環境保全資金費	新規融資枠 8億円	中小企業者の公害防止、リサイクル関連等の循環型社会づくりに対する貸付 融資限度額 50,000千円
・ 大気汚染監視費	147,690	大気監視測定機器整備費 30,022千円 大気汚染監視網管理費 113,668千円 監視測定局 18局 自動車排出ガス測定局 2局 中継局 1局 移動測定車 1台 有害大気汚染物質監視調査費 2,270千円 酸性雨調査費 1,730千円
・ 水質環境基準等監視調査費	46,137	環境基準監視調査費 36,016千円 一般水域監視調査費 623千円 地下水汚染等監視調査費 5,432千円 水質測定計画作成費 340千円 排水基準監視指導費 3,726千円
・ 新湖沼水質保全対策検討調査費	11,400	河北潟における水質汚濁負荷量の状況を把握し、負荷低減による湖沼水質保全対策の検討 発生源別汚濁負荷量の把握
・ 新黄砂調査費	750	黄砂の粒径別ふんじん量の調査、成分分析
・ 土壌汚染対策費	500	土壌汚染対策法の説明会の開催
・ 騒音、振動規制対策費	21,071	自動車騒音測定評価費 11,919千円 航空機騒音測定調査費 9,152千円
・ 化学物質等環境汚染対策費	2,820	化学物質の実態調査
・ 志賀原電環境安全対策費	190,206	環境放射線監視システムの運用等 143,539千円 緊急時環境モニタリングの運用 30,603千円 温排水影響調査、環境放射能水準調査費等 16,064千円
・ 合併処理浄化槽普及推進費	104,451	合併処理浄化槽設置整備に対する助成 103,499千円 553基(うち閉鎖性水域分 173基 金沢市他6市町) 新市町村が行う面的な合併処理浄化槽整備に対する助成 952千円 交付先・設置基数 富来町 72基(737千円) 内浦町 22基(215千円)

環境安全部

事業名	金額(千円)	説明
・新RDF広域化推進費補助金	38,490	RDF製造施設完成後の廃止となるごみ焼却施設の起債償還残額に対する助成 河北郡広域事務組合 5,118千円 羽咋都市広域圏事務組合 1,289千円 七尾鹿島広域圏事務組合 32,083千円
<b>7 産業廃棄物処理対策の推進</b>		
・拡不法投棄等不適正処理防止対策事業費	13,462	新市町村職員の県職員併任制度の創設(20市町村) 744千円 新不適正処理事案の休日・夜間の警備会社委託 500千円 産業廃棄物監視機動班による指導・監視 7,119千円 不法投棄連絡員制度補助金(22市町村) 2,734千円 パトロールの強化による不適正処理対策等 1,815千円 (休日・早朝・夜間・県境合同路上検査) 産業廃棄物適正処理推進講習会の開催 550千円
・産業廃棄物処理推進費	7,241	産業廃棄物処理施設への立入調査・指導・放流水調査等 対象:131事業所(1~6回/年)
・PCB廃棄物処理基金出捐金	19,000	環境事業団の「PCB廃棄物処理基金」へ出捐 事業団:PCB廃棄物の広域処理施設の建設・運営 基金総額770億円(国1/2 都道府県1/2) 県拠出総額 365百万円(H13~26)
・産業廃棄物処理施設整備資金費	新規融資枠3億円	中小企業者の産業廃棄物処理施設整備に対する貸付 融資限度額:最終処分場 5億円 焼却施設 1億円
<b>8 自然環境の保全</b>		
・いしかわ自然学校推進費	22,500	推進体制の整備 9,183千円 連絡協議会の開催、指導者・講師派遣など 各種体験事業の実施 13,317千円 新夕日寺モデル里山学校の開校(里山保全ワキガ'ホデー、里山あそび塾など)、山のまなび舎の実施(白山まるごと体験教室など)、海のまなび舎の実施 自然解説事業の実施 (参加者数 20,000人 23,000人)
・新インストラクタースクールの開校	12,000	基礎課程(受講予定者数 60人) 自然体験活動の基礎的な技術と知識を習得 インストラクター養成課程(受講予定者数 20人) 基礎的な技術等を習得している指導者のレベルアップを図るため、各種講座を設け、所定のカリキュラムを修了した者を「いしかわ自然学校インストラクター」として認定専任コーディネーターの配置 企画、運営、指導、助言等を行うコーディネーターをいしかわ自然学校事務局に配置

環境安全部

事業名	金額(千円)	説明
・ 海の自然体験フィールド整備事業費	190,100	いしかわ自然学校に活用する海の自然体験型活動拠点の整備 場所 内浦町(のと海洋ふれあいセンター隣接地) 内容 海の自然体験館(仮称)の建設 木造2階建 レクチャールーム、シャワールーム等 スノーケリングフィールドの整備 事業年度 H12~H15 総事業費 369百万円
・ 夕日寺健民自然園整備事業費	9,800	「モデル里山」の推進に必要な整備等 間伐・倒木処理等
・ 重要生態系保全調査費	7,693	里山における希少な野生生物の生息環境や重要な生態系 地域の実態調査を実施し、保全管理方針をとりまとめ 事業期間 H13~H15(H15:方針のとりまとめ)
・ 希少野生生物・自然景観保全対策事業費	3,600	市町村が実施する希少野生生物の保護復元事業等に対する助成 補助率 1/2 交付先 尾口村 (瀬女高原山頂シャクナゲ植栽整備事業)
・ 特定鳥獣保護管理計画推進費	5,000	第9次鳥獣保護事業計画(H14~H18)に基づく、サル・クマの適正な保護管理を行うための調査 対象鳥獣 ツキノワグマ、ニホンザル 内容 モニタリング調査、奥山放獣試験等
・ 白山地域高山植物等保全技術研究費	5,000	高山植物等の馴化試験及び砂防・治山事業地等の植生復元に応用するための増殖、植栽試験 事業期間 H12~H16 委託先 白峰村
・ 白山高山帯保全対策調査費	1,870	標高2,000メートルを越える地域への外来種の侵入実態調査
・ 白山森林生態系地域希少生物保全対策調査費	1,180	イヌワシ、クマタカの分布、生息密度、生態調査(繁殖状況のサンプリング)
・ 地球温暖化影響調査費	4,000	白山の生態系の実態調査、雪渓規模の把握 事業期間 H14~H16
・ 白山火山噴出物調査費	1,000	鉱物調査、火山噴出物分布調査等 事業期間 H14~H16
<b>9 自然公園の保護と利用の推進</b>		
・ 新百名山のふるさと白山整備事業費	71,500	白山の自然環境保全と快適な利用を図るための施設整備 事業期間 H15~H19 H15 白山室堂水源確保及び水場の整備 新岩間園地の整備(便所、駐車場)
・ 医王山県立自然公園整備促進事業費	5,260	登山道、案内標識及び菱池小原登山口駐車場の整備
・ 自然公園等環境美化事業費	14,210	自然公園等における各種利用施設の保守、点検、清掃等
<b>10 災害救助体制の整備</b>		
・ 航空消防防災体制運営費	160,697	消防防災ヘリコプターの運航費
・ 災害救助犬養成事業費	1,125	災害救助犬の養成(12頭)

事業名	金額(千円)	説明
<b>1 1 災害予防対策の強化</b>		
・ 地震災害対策緊急整備事業費	28,256	県有施設の耐震性能調査・耐震補強工事
・ 総合防災情報システム管理運営費	190,513	総合防災情報システム管理費 112,492千円 防災行政無線(地上系・衛星系)管理費 71,153千円 地震情報システム管理費 3,372千円 奥能登行政センター(仮称)建設に伴う総合防災情報システム端末装置の移設費 3,496千円
・ 原子力等災害予防対策費	96,893	原子力防護資機材整備費等 65,313千円 オフサイトセンター維持管理費 9,928千円 防災講習・研修会費 7,215千円 防災訓練実施・啓蒙普及費 14,437千円
・ 防災訓練費	3,524	防災総合訓練(輪島市)、石油コンビナート防災訓練、広域応援訓練の実施
<b>1 2 消防防災機能の充実</b>		
・ 緊急消防援助隊強化訓練費	1,000	県内合同訓練の実施(防災総合訓練時に実施) 開催場所 輪島市
・ 消防防災施設整備費	11,400	消防防災施設等整備に対する助成(消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ、防火水槽、消防用無線等) 消防団への入団促進事業に対する助成(制服等の整備)
<b>1 3 消費者行政の推進</b>		
・ 市町村消費者行政支援事業費	1,921	市町村相談員の養成研修など 419千円 消費生活推進員の設置(80人) 641千円 新市町村と連携した普及啓発事業の実施 861千円 若者向けポケットガイドブック 20,000部 高齢者向けシールチラシ 60,000部
・ 消費者啓発教育事業費	19,637	中学生からのかしこい消費者育成事業費 1,084千円 新中学1年生に消費生活ハンドブックを配布 消費者情報の提供・啓発事業の推進 16,753千円 消費生活展の開催(2回) 1,800千円
・ 消費生活協同組合資金費	新規融資枠8千万円	消費生活協同組合の運営費に対する貸付
・ 食の安全・安心確保総合対策費	12,570	拡食品表示実態調査費 11,130千円 対象:農産物、水産物の販売業 720店舗 調査内容:原産地等表示の有無、表示の根拠、不良食品の有無 委託先:石川県消費者団体連絡会 新食品表示モニター設置事業費 1,440千円 食品表示モニターの委嘱(100人) 食品表示状況のモニタリング

環境安全部

事業名	金額（千円）	説明
14 交通安全対策の推進 ・ 高齢者交通安全対策費	12,777	新交通安全おもいやり家族サポート事業費 4,480千円 委託先：交通安全母の会 高齢者交通安全推進員と交通安全母の会会員が高齢者宅を訪問、反射材等を配布し交通安全意識を高揚 高齢者道路横断体験学習等事業費 6,997千円 コンピュータシミュレーションによる歩行体験教育及び高齢者交通安全推進員の啓発活動 新シルバーチャレンジいしかわ事業費 1,300千円 講習会ポイント制の導入
15 安定した水道水の確保 ・ 簡易水道等施設整備費	30,399	簡易水道等施設の新設、改良事業に対する助成 交付先 7市町村 11か所 23,679千円 離島海水淡水化施設整備事業に対する助成 6,720千円 交付先 輪島市